

2022年度高等教育開発センターにおけるFD/SDの取組

高等教育研究開発センター（文責：齊藤 萌木）

1. 高等教育開発センターにおけるFD・SDの基本的な考え方

リフレクションシート等から抽出した課題やニーズを踏まえ、2023年度のFD・SDについての基本的な考え方および活動計画と重点課題を「高等教育開発センターのFD/SD実施方針」として下記のとおり整理し、第10回運営会議で承認を得た。

「高等教育開発センター」は、本学の教職員が教育活動に必要な資質能力を向上させるためのFD/SDを実施する。

本学の教職員に求められる資質能力については、下記の3項目に整理できる。

(1)3ポリシーに示された本学の教育活動のビジョンを把握している

(2)PDCAサイクルにより教育活動の継続的改善に取り組める

(3)教育実践上のニーズや社会からの要請に応じ、教育活動の改善に関する知識・技能を随時更新できる

「高等教育開発センター」では、関連諸部局と連携しながら、こうした資質能力の向上を支援するためのFD/SD活動の企画・運営・評価および学部科等への情報提供とフィードバックを行う。

(2023年度「高等教育開発センター」のFD/SD実施方針 第10回運営会議協議資料2)

2. 2022年度の全学の教育活動（正課）の概観

(1) 授業実施状況

2022年度本学においては、対面授業/オンデマンド型授業の2つの形態を活用し、ガイドラインに即して授業を実施した。「授業評価アンケート」の結果では、どちらの形態においても5割以上の学生が授業における達成度主観評価で「到達目標を超えて、知識や能力を獲得できた」と回答していた。また、こうした学生は、授業をとおして身についた知識・能力や学習過程での取組の評価に基づいて達成度を判断していた。以上の事実から、学生/教員の間で、授業の目標共有が進んでおり、学生の主体的な学びの姿勢が育ちつつあると言える。

他方、オンデマンド型授業では、3割弱の学生が毎週の授業1回あたりの平均学修時間を1時間未満と回答するなど、学修時間が十分に確保できていない状況も伺われた。アンケート自由記述の分析から、オンデマンド型授業では、対面に比べて学習過程での取組への手ごたえを実感しにくい傾向が確認できていることも考慮すると、オンデマンド型授業において、学生が自らの学習を見直す機会を意図的に設定する、フィードバックを充実させる等、学生が学修の手ごたえを実感し意欲的に取り組むための支援を充実させることが課題になると考えられる。

(2) 授業改善に対する取組

「授業のリフレクションシート」や「授業見学会報告書」によれば、本学教員は学生の満足度、取組の活性化、フィードバックの各点について、積極的に授業改善に取り組んでいる様子が明らかになった。特に、数年来課題となっていたループリックの活用については、「リフレクションシート」に解答した教員の7割程度がループリックを導入していることを確認できた。参考資料の提供等に一定の成果があったと考えられる。なお、ループリック利用のメリットとしては、授業の目標や活動の指針について学生と認識を共有できることを上げた教員の割合が最も多く、ついで評価の客観化・明確化・効率化であった。すなわち、ループリックを作成し利用することは、教員と学生の双方が、授業のねらいを共有し、教育と学修の改善に取組みやすい状況の基盤を整えることに貢献していることがうかがわれる結果と考えられる。

他方、FD/SDの実施状況をふまえると、授業改善に対する積極的な取組の全学的普及には、次年度も引き続き取り組む必要があると考えられる。例えば、「授業のリフレクションシート」では、ループリックを取り入れない理由として「具体的にどのような効果があるのかエビデンスが不明確である」などの意見があった。授業改善のための工夫の成果/課題を、学生の学びの事実（事例・エビデンス）に基づいて把握し共有できる取組や仕組みを充実させていくことが重要であり、より組織的なはたらきかけが求められる。

3. 活動報告

(1) 2022年度の重点的な取組

①大学院FDの開始

②シラバスチェックマニュアルの改訂とチェック体制の構築

③FD/SDの整理体系化

(2) FD/SD実施状況

①取組一覧 左列の(1)～(3)は、2の(1)～(3)に対応

項目	取組内容	
(1) 新任教員FD/SD	<ul style="list-style-type: none"> ○動画コンテンツ制作(8種類) ○懇談会の企画運営(2022年4月23日) ○2年目教員の懇談会参加について検討 	
(2) 【Plan】 授業設計視点提示(シラバス執筆支援)	<ul style="list-style-type: none"> ○シラバス執筆マニュアルの改訂(具体事例挿入等) ○各学部でのシラバスチェック体制構築支援 ○「ループリック見直しのポイント」、「ループリックの利用のすすめ」作成・公開 ○アセスメント科目ループリック参考資料の作成・公開 	
【Do→Check】 授業見学会	<ul style="list-style-type: none"> ○前期、後期の授業見学会の運営 ○報告書設問項目の検討 ○オンライン授業見学(オンデマンド型)参考資料の充実 ○参加状況の把握、報告書の集計と分析、学内への共有 	
【Check→Act】 授業評価アンケート・所感	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケート項目の見直し ○アンケート実施と回答状況の把握 ○結果の集計と分析、学内への共有 ○所感作成状況の把握 ○「学生と選ぶkyoritsu授業賞」選定 	
【Act→Plan】 授業リフレクションシート	<ul style="list-style-type: none"> ○設問の検討 ○運営と結果の集計、分析、学内への共有 ○結果の集計、分析、学内への共有 	
(3) 主題設定型研修 随時実施	大学院FD	○「コーチング技能を活用した院生指導」東北大学出江紳一先生(2022年11月1日～11月30日オンデマンド)
	【新】指導補助者(TA/SA)FD	<ul style="list-style-type: none"> ○「TAハンドブック」作成・配布開始 ○TAおよび担当教員へのアンケート ○TA/SAFD検討
	テーマ別FD/SD	<ul style="list-style-type: none"> ○「『共立リーダーシップ』とは」本学教員3名(2022年8月5日～9月21日オンデマンド) ○「変化の担い手となる～未来はあなた、そして私たちの手の中に～」はこだて未来大学美馬のゆり先生(2023年3月13日) ○「リーダーシップ教育の実施方法の支援について」本学教員(2023年3月16日～3月31日オンデマンド)
授業支援サイト 常時情報提供	オンデマンド型授業実施支援	<ul style="list-style-type: none"> ○オンデマンド型授業ガイドライン改訂 ○天吊りカメラの活用について資料提供
	ICT活用支援	<ul style="list-style-type: none"> ○問合せ窓口での個別支援 ○教室巡回による運営支援
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ○FD/SDサイト改訂方針検討 ○他部局と連携したFD/SDコンテンツ作成および運営支援 ○「アセスメントプランの活用」(教務課、大学企画課、教育学術推進課) ○「アカデミックアドバイザーFD」(学生委員会・学生支援課) ○「リーダーシップ教育ガイドライン」作成・公表(リーダーシップ教育センター) ○「看護学部FD『こういう学生を育てたい(その2)』(看護学部)

② 参加状況→別紙1

2022年度FD活動への参加状況

学部	学科	人数	新任教員対象FD研修会 就任前～202205			前期 授業見学会 20220613～0630 ※1		前期 授業リフレク ションシート 20220822～0912	
			対象者	参加者	参加率	参加者	参加率	参加者	参加率
家政学部	被服	11				11	100%	11	100%
	食物栄養	11				11	100%	11	100%
	建築・デザイン	10	1	1	100%	10	100%	10	100%
	児童	20	2	2	100%	19	95%	20	100%
文芸学部		35	2	2	100%	32	91%	35	100%
国際学部		26	1	1	100%	26	100%	25	96%
看護学部		28	3	3	100%	28	100%	28	100%
ビジネス学部		19	2	2	100%	19	100%	19	100%
生活科学科		7				7	100%	7	100%
文科		7				7	100%	7	100%
高等教育開発センター		2	1	1	100%	2	100%	1	100%※2
計		176	12	12	100%	172	98%	174	99%

※1 報告書3つ以上の提出者を「参加者」としてカウント

※2 高等教育開発センター教員1名は授業を担当していないため、リフレクションシートでの対象カウントは「1」

学部	学科	人数	SD・FD研修会「アセスメント プランの活用について」 20220920			SD・FD研修会 『「共立リーダー シップ」とは』 20220805～0920		大学院FD研修会 「コーチング技能を 活用した院生指導」 20221101～1130	
			対象者	参加者	参加率	参加者	参加率	参加者	参加率
家政学部	被服	11	4	3	75%	9	82%	1	9%
	食物栄養	11	5	5	100%	9	82%	1	9%
	建築・デザイン	10	5	4	80%	10	100%	0	0%
	児童	20	4	3	75%	16	80%	1	5%
文芸学部		35	8	4	50%	29	83%	6	17%
国際学部		26	3	3	100%	20	77%	1	4%
看護学部		28	6	3	50%	22	79%	6	21%
ビジネス学部		19	5	4	80%	19	100%	2	11%
生活科学科		7	3	3	100%	6	86%	1	14%
文科		7	3	1	33%	7	100%	1	14%
高等教育開発センター		2	-	2	-	2	100%	1	50%
計		176	46	35	76%	149	85%	21	12%

学部	学科	人数	後期 授業見学会 20221114～1130 ※1		2022年度後期授業リ フレクションシート 20230211～0305		FD研修会「変化の担い 手となる ～未来はあ なた、そして私たちの 手の中に～」 20230313		リーダーシップ教育 の実施方法の支援に ついて 20230316～0331	
			参加者	参加率	参加者	参加率	参加者	参加率	参加者	参加率
家政学部	被服	11	10	91%	11	100%	2	18%	7	64%
	食物栄養	10	9	90%	10	100%	4	40%	8	80%
	建築・デザイン	10	9	90%	10	100%	1	10%	9	90%
	児童	20	15	75%	20	100%	4	20%	10	50%
文芸学部		35	12	34%	35	100%	3	9%	15	43%
国際学部		26	16	62%	25	96%	0	0%	11	42%
看護学部		26	19	73%	26	100%	25	96%	16	62%
ビジネス学部		19	16	84%	19	100%	5	26%	15	79%
生活科学科		7	7	100%	7	100%	3	43%	6	86%
文科		7	2	29%	7	100%	4	57%	5	71%
高等教育開発センター		2	1	50%	1	100%※2	2	100%	1	50%
計		173	116	67%	171	99%	53	31%	103	60%

※1 報告書3つ以上の提出者を「参加者」としてカウント

※2 高等教育開発センター教員1名は授業を担当していないため、リフレクションシートでの対象カウントは「1」